

# 広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリング

## 筑波大学農林技術センター

2011年3月11日に発生した東日本大震災は広範な地域にわたり深刻な影響を引き起こしました。筑波大学では復興・再生支援ネットワークを形成し、放射線対策、産業再生・創出、防災・まちづくり、健康・医療・心のケア、科学振興・人材育成、芸術による復興支援、学生の取り組みの7分野で、大学をあげて様々な社会貢献活動を実施しています。農林技術センターは筑波大学東日本大震災復興・再生支援プログラムの一つとして、健康・医療・心のケアで「被災地における心の復興：とくに児童生徒を対象に」を実施し、放射線対策で「広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリングと芝生等被覆作物による土壌中の放射性物質の物理的・生物学的除染と減量化」を継続実施しています。

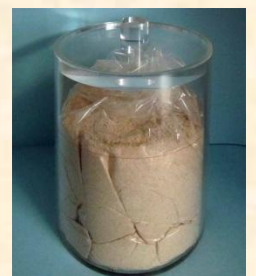
筑波大学復興・再生支援ネットワーク <http://scpj.tsukuba.ac.jp/program/>

東日本大震災復興・再生支援プログラム <http://www.tsukuba.ac.jp/disaster0311/supportprogram.pdf>

## 広域被災地の農業復興に向けた放射性物質の移行モニタリングと芝生等被覆作物による土壌中の放射性物質の物理的・生物学的除染と減量化

食の安全安心を担保して農業復興を支援するため、広範囲に広がる放射性物質降下域で、多様な農作物の放射性物質移行係数を明らかにし、短期的かつ効果の高い土壌除染方策を見いだそうとします。

土壌、雑草、水、堆肥、雑草の他、イネ、ジャガイモ、サツマイモ、ラッカセイ、ソバ、ダイコン、トウモロコシ、ウメ、ブドウ、ナシ、クリ、マイタケ、シイタケ、タケノコ、原乳など、農林技術センターで生産されているすべての農産物についてゲルマニウム半導体検出器を用いて、現在までに671検体のサンプルの放射線強度を測定して国の基準に従って安全な農産物を販売しております。また、土壌からの移行についても調査を進めています。



筑波大学農林技術センター  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
TEL:029-853-2596 FAX:029-853-6205  
<http://www.nourin.tsukuba.ac.jp/>

